

2023年11月14日  
エリーパワー株式会社  
スズキ株式会社

## エリーパワーとスズキ、追加出資・業務提携契約締結のお知らせ

エリーパワー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼 CEO：吉田博一、以下 エリーパワー）とスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木俊宏、以下 スズキ）は、循環型社会とカーボンニュートラル社会の実現に貢献することをめざし、追加出資・業務提携契約を締結いたしました。



スズキは、2012年に大型リチウムイオン電池および蓄電システムを手掛けるエリーパワーに10億円を出資し、技術交流を図ってきました。このたびの契約締結により、スズキはエリーパワーに100億円の追加出資を行い、21.59%の株式を保有する筆頭株主となります。さらにスズキは、エリーパワーが発行する転換社債型新株予約権付社債150億円を引き受けます。出資・引き受け手続きは、2023年内に完了する見込みです。

また両社は、蓄電システムにも多様なモビリティにも搭載可能なリチウムイオン電池の共同開発に合意しました。今回エリーパワーがスズキから調達する資金は、主に設備投資・共同開発に充当される予定です。

エリーパワーは、定置用途とモビリティ用途で共通利用可能な大型リチウムイオン電池の実用化をめざし、2006年に創業いたしました。

創業以来培ってきた住宅をはじめとする定置用途での独自技術（高安全・長寿命・温度特性）をモビリティ領域でさらに発展させることで、今まで以上に環境・エネルギー問題解決に貢献し、持続可能な社会の実現に尽力してまいります。

スズキは、今回のエリーパワーとの提携を通じて、モビリティの電動化を加速させ、お客様の立場になった製品・サービス作りと、再エネ活用による持続可能なカーボンニュートラル社会への貢献を目指してまいります。

### ■ エリーパワー 吉田会長のコメント

「この度、スズキ様との技術交流や定置用での実績が実り、スズキ様が手掛けられる多様なモビリティ領域へ参入できることを大変嬉しく思います。当社は創業当初より、定置用途とモビリティ用途に共通で利用可能な大型リチウムイオン電池の実用化を目標に掲げ、大和ハウス工業様が手掛ける高級住宅や賃貸住宅、商業施設、物流倉庫などを中心に蓄電システム領域の市場開拓を先行してまいりました。

今後はこの共同開発を通じて、これまで定置用途で培ってきた独自技術に磨きをかけ、モビリティの電動化に役立つ競争力の高いリチウムイオン電池で貢献するとともに、モビリティ領域ではスズキ様、蓄電システム領域では大和ハウス工業様をはじめとするパートナー企業様との連携の下、循環型社会・カーボンニュートラル社会の実現に向けてさらなる前進をまいります。」

■ スズキ 鈴木社長のコメント

「2012年以降、エリーパワー様とは技術交流を行ってきました。このたびの関係強化により、電動モビリティへの変革が求められる現代において、高安全、長寿命、温度特性などの独自技術や蓄電池活用に関する知見をお持ちのエリーパワー様と一緒に、カーボンニュートラル社会実現に向けた取り組みを推進してまいります。また、環境への配慮と高い性能を両立させたモビリティに適したリチウムイオン電池の共同開発にも取り組みます。スズキは、エリーパワー様および他の出資企業様と連携し、持続可能な環境づくりを進めてまいります。」

《エリーパワー株式会社 概要》

設立	2006年9月
代表者	代表取締役会長兼CEO 吉田博一
URL	<a href="https://www.eliipower.co.jp/">https://www.eliipower.co.jp/</a>
所在地	本社：東京都品川区
事業内容	<p>大型リチウムイオン電池および蓄電システムの開発、製造、販売</p> <p>定置用途とモビリティ用途の共通利用可能な大型リチウムイオン電池の実用化を目指した産学連携プロジェクト「エルスクエアプロジェクト」の研究成果・理念を継承し、慶応義塾大学発のベンチャーとして創業いたしました。</p> <p>当社蓄電システムに搭載している電池は、研究開発から生産まで一貫した体制で自社製造しており、蓄電システムも、住宅を中心にセキュリティ、通信、病院・介護福祉、官公庁・自治体等で累計 94,000 台以上 (2023年9月時点) ご利用頂いております。</p>

《スズキ株式会社 概要》

設立	1920年3月
代表者	代表取締役社長 鈴木俊宏
URL	<a href="https://www.suzuki.co.jp/">https://www.suzuki.co.jp/</a>
所在地	本社：静岡県浜松市
主要製品	四輪車・二輪車・船外機・電動車いす等

以上